



三冠王トップニュースを独り占め  
赤い糸夢見る日々はまだ続く  
かけっこは録画応援さみしいね  
火を点けて静かに去って行った人  
引き出しに仕舞ったままの古い恋  
葉室麟の本を七回読破する

岩国市 上村 夢香  
尾道市 小川 道子

意のままになると思うな天の声  
悲しみが始まりそうな雨の音  
地球規模世界が変化する不安  
幾許の命と思う愛おしい  
警戒心あおる線状降水帯

呉市 増野 民子

疼痛や無理はしてないはず八十路  
有頂天踊れば直ぐに転ける齡  
意欲湧く秋だ値上げのパン鬻る  
滑稽な姿さらしてから黄泉へ  
鉛筆の芯折れたまま男臥す

福山市 酒井 日出夫

猪が稔ったお米倒してる  
良く出来た草に塗れた秋の茄子  
苦もあつた枯れそうな木に一つの芽  
菜園を妻と一緒に鋤を持つ  
俺の道背筋伸ばして迷わない

岩出市 高良 侑未  
妹の息抜きたったの二日間  
妹のグチ聞く私の役目  
帰りは心軽く荷物は倍にして  
片乳の無いのに慣れた3年目

総社市 小塚 未希  
暑さ越え我が家を守る虫たちよ  
深夜便本とも出逢い嬉しい日  
お誘いがカラオケ好きの金曜日  
新築と若い家族がやって来た

竹原市 栄谷 白狐  
本当の秋は野菜を植えてから  
このコロナ老いも若きもみな壊し  
もう少し僕は不良になればいい  
長い事やってはきたがまだ見えず

竹原市 金沢 節生  
目印は白い煙突竹太郎  
施設から外出出来ずカゴの鳥  
老いて今スマホの便利悔しがる  
蝉取りを思い出します寺の庭

竹原市 向原 道子  
ミサイルが日本通過震撼す  
月下美人異常気象に狂い咲き  
秋夜長読書好きには至福時  
川柳を始めて久し手強いな

国民はかやの外です耐えている  
ミサイルに遺憾ですなど通じない  
支援物資上から目線で届く  
卓袱台を囲んだ昭和小津映画  
物価高成す術もなく知恵もない  
秋の供養祭没句もそつと入れ

さいたま市 星野 育子  
庄原市 伊藤 寿子

開店より閉店つらいものと知る  
五十年余年の冷凍ケースを捨てる日が  
御時勢とコロナへ乗せてあきらめる  
セーラー服のまま年取った人とされ  
ああ無常初代が見たら怒るだろう

上尾市 中村 伸子

「ママごめんね」と言ったら普通許すでしょ  
ポックリと逝きたし女王のように  
旅行割使えない身もあるのです  
寝返りが出来ただけでもうれしい日  
マイナンバーカードとうとう申請す

東広島市 和泉 歩美

ひつじ雲すじ雲空を見る平和  
焼き芋のキッチンカーが来た香り  
明日はあす食べたいものは食べて寝る  
暑がり寒がり我慢比べの夜  
ませたことどこで覚えてきたのかな

竹原市 古田 比呂子  
虫の声そつと秋が来ていたよ  
童謡の優しさ沁みてくる秋よ  
道草をして見つけたよ四ツ葉  
いい夢を見ようオルゴール鳴らす  
金平糖夢をいっぱい見てほしい  
赤いバラ百本を抱く古稀となる

竹原市 今井 初音  
御無沙汰の友に絵手紙彼岸花  
祖母と見た月を今夜は曾孫と  
曾孫来る準備バツタやかたつむり  
認知症の記事やたらと目について  
文化祭川柳と絵手紙展示した

竹原市 楠 貞子  
花の名を一つ覚えて二つ忘れ  
夢で見る道どこまでもどこまでも  
いい食事しながら思うウクライナ  
いわし雲ちちはは恋し夏終る  
彼岸花亡夫のお墓も久しぶり

竹原市 土井 輝恵  
又同じ過ち犯す送迎車  
観そびれた十五夜朝の天拝む  
統一教会桜田淳子は今如何に  
母よりも母だった亡姉七回忌  
人間って八十五からが勝負だよ

竹原市 土井 輝恵

ダリア園雲のアートも撮り入れる  
花巡り帰りにススキ二、三本  
脳トレドリル捲るページが進まない  
棚整理正宏さんの句が温い  
杖歩き奇麗と言われちよっと照れ  
長引くコロナこぼれる萩の秋寂し

竹原市 若年 幸子  
忙しさ倅せと思うことにする  
稲刈りにみあたらないよ赤とんぼ  
葉変えた違いがわかる九十五  
野球少年妻を迎える秋となり  
ありがとうの言葉と合掌増えてきた

竹原市 菅 弘子  
お裾分けあちこちかぼちゃ30個  
お彼岸へ毎年おはぎ供える娘  
小春日和誘って欲しい家ごもり  
地域交流体のメンテ週二回  
まさかまさかの竹原へ嫁ぐとは

竹原市 河崎 厚子  
彼岸花亡母の面影うつし映く  
敬老のおはぎが届く傘寿です  
お彼岸へ宅配で来る亡夫の好物  
秋の蝶小さな幸を連れて来る  
「国葬」の賛否雷雨の鳴り止まぬ

竹原市 新 瀧 史子  
キンモクセイ香る あなたを想う秋  
衣替え寒暖の差に戸惑って  
干し柿もアケビも令和の子は知らぬ

ジュニアの部  
御菌宇小二年 和泉 沙 弥  
妹はうし年だからのんびりだ  
はりねずみみたいなたわしでくつあろう  
リップぬったのにたべたらきえちゃった  
吉名学園一年 江島 央  
につぼんのみんなちかのパワーをおくりま  
ますかつときみどりいろがきれいだね

竹原市 小島 蘭 幸  
深呼吸いいね金木犀咲いた  
またひとつ奥歯が欠けたのは内緒

中央専門誌「月刊 川柳塔」の購読をお薦めします。  
定価 一冊 八〇〇円 (+送料百円)  
半年分 五〇〇〇円 (送料共)  
一年分 九八〇〇円 (送料共)

竹原市 田中 敬子  
告示せぬうちから走る選挙戦  
嘘を言う顔には見えぬ胸のバラ  
神無月神は出雲へ湯治です  
頼るふりして機嫌とるのも愛よ  
カーナビで迷子になった珍道中  
あの犯人も想えば辛い人生を

竹原市 元吉 慶子  
市議選へ動き始めている猛暑  
ありがたい水曜毎に来る妹  
誰かのために出来る調理のありがた味  
墓参り思わぬ出逢いありがとう  
独りはもう慣れてきたるか淋しがり

竹原市 松田 栄香  
誕生日来る度人生振り返る  
寝る前に今日の良い事思い出す  
人生の生き甲斐磨く好奇心  
旅プランまで慎重にするマスク  
いつだって今が一番幸せよ

竹原市 岩本 笑子  
終るのは夏だけでなしトンボも蝶も  
コスモスが咲くので少し休もうか  
小さな小さな花を今日も活かしている  
夕焼けはきつと太陽の涙  
毛糸編む一日ゆっくり解けてゆく

令和5年第32回 札幌川柳社ファミリーのつどい

日時 令和5年1月15日(日) 十時〜受付  
会場 ホテルノースシティ 2階「金柔の間」  
(札幌市中央区南9条西1丁目)

宿題一部  
宿題と選者(各題2句詠・事前投句)  
「新鮮」佐藤 芳行選 「人形」大橋百合子選  
「奇跡」岡崎 守選  
投句料 一〇〇〇円(切手不可・発表誌呈)  
投句用紙 指定用紙(蘭幸まで)作品と必要事項を記入  
投句締切 令和4年12月12日(月) 必着  
投句先 〒061-1103  
北広島市虹ヶ丘3丁目2-15 「佐藤芳行」宛

宿題二部  
宿題と選者(各題2句詠・出句締切11時45分)  
「演じる」清水ひろ子・小野寺三陽 共選  
「燃える」岡本恵美子・青柳 忠 共選

大会参加費 二五〇〇円(昼食代含)  
懇親会費 五〇〇〇円(希望者)  
参加申込 令和4年12月12日締切  
表彰 宿題一部11〜10位  
発表表 宿題二部11〜15位  
主催 札幌川柳社